

# 一冊一冊の本に込められた 思いを大切に 大崎中学校 『春田文庫』



▲大崎中学校図書室に設置された『春田文庫』

読書離れや活字離れが言われるようになって久しいものがあります。大崎中学校では、読書の充実にも力を入れ、語彙力や表現力の向上に努めており、鹿児島県児童生徒作文コンクールでの2年連続の特選受賞など、その成果が表れています。

今年度も、図書の寄贈をしてくださるとのことです。現在、生徒から希望図書を募っているそうです。

生徒会学習部の中尾浩人君、南千鶴さんは、「たくさんの感動を与えてくれる本ばかりで、心から感謝しています。これからも大切に利用させていただきます。」と話してくれました。

故郷を離れた先輩の母校への熱い思いを感じながら、生徒たちにとっても、学校にとっても、楽しみの多い春と なっているようです。

大崎中学校の図書室に『春田文庫』のコーナーがあります。これは、大崎町益丸出身で現在、千葉県船橋市に在住の春田嘉文さん（68歳）からの寄贈図書コーナーで、長年にわたり寄贈された図書は、優に1、000冊を超えています。春田さんは「子ども達の夢を大きく育て、大崎町発展の一翼になれば…」という願いで図書の寄贈を始められました。学校では、朝の読書や『総合的な学習の時間』の調べ学習等に活用するとともに、生徒への閲覧や貸し出しを行っています。



春田嘉文・ユミエさんご夫婦

# 大崎町健康運動普及推進員

*Osaki-cho healthy movement spread promotion member training course*

## 養成講座を開催中

町では、平成16年度より健康運動普及推進員養成講座を開催しています。

これは、寝たきりやボケを防ぎ、人生80年時代をすこやかに生きるために、町民の日常生活の中に運動習慣が定着するよう、地域で健康づくりのための運動を普及する推進員を養成することを目的としています。

今年度の講座は、11月から3月まで8回コースとなっており、13名の方々が受講されています。講座の主な内容は、健康と運動に関する講話と実技指導です。



1月12日（水）は、鹿屋体育大学助教の前田明先生の講話『介護予防と運動くボケないための暮らし方』と、レクリエーションコーディネーター中山美幸先生による『レクリエーション指導法』についての講話と実技指導がありました。受講生のみなさんは、熱心にまた楽しく受講されていました。

3月には講座を終了し、4月から地域の中で、現在活動されている14名の推進員とともに、町民の介護予防の担い手として、また健康づくりのために活動していただく予定です。